

事業者向け 児童発達支援自己評価表

ま〜ぶる・び〜と

令和6年1月29日

区分	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			適切であると考えます。
	2 職員配置数は適切であるか	○			作業療法士・保育士・言語聴覚士を基準数以上に配置しております。
	3 生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境※1になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	○			自社ビルではないですが、既存のエレベーター等、肢体不自由児の受入れも可能なため、問題ないと考えます。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	○			適切であると考えます。
業務改善	5 業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	○			定期的なMT等を開催しております。
	6 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			適時行っております。
	7 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			公開しております。
	8 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			○	第三者委員における評価は行っておりません。必要に応じ評価頂き、業務改善事項については取り組んでまいります。
	9 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			適時行っております。
適切な支援の提供	10 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	○			実施しております。
	11 子どもの適応行動の状況を計るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			実施しております。
	12 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	○			5領域11項目にそった、個別支援計画のフォーマットを見直しを実施し、運用開始しております。
	13 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	○			実施しております。
	14 活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			実施しております。
	15 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			定期的な主担当スタッフを変更し、次のステージへの準備のための支援を常に行っております。
	16 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせることで児童発達支援計画を作成しているか	○			実施しております。

区分	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など	
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			実施しております。
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○			実施しております。
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			実施しております。
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	○			実施しております。
関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしいものが参画しているか	○			参加しております。
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか		○		仙台市においては、区役所との連携がないことは問題である。(地区担当保健師との連携が課題)
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか		○		相談支援事業所がついている仙台市以外のお子さんたちは、連携がとれている。問題を解決できないのは、セルフプランのケースであり、そもそも連携というのはいけないと判断している。
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか	○			主治医との連絡調整、昨年より減ってはいるがZOOMでの会議を行っているケースはある。
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○			仙台市以外については、保護者・他施設・弊社の3者による同意がある場合は、共有化を務めている。
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○			仙台市以外における、保育所等訪問支援事業を活用し、現在進行形で動いている。
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか			○	昨年も記載したが、センターとは？連携とは？まったくできていない現状である。
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか			○	交流が必要と判断していない。
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか		○		昨年やっと連絡があったが、時間帯が難しい。土曜日日曜日の開催を求める。
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			実施しております。
31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか	○			実施しております。	

区分	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
保護者への説明責任等	32 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			契約時におこなっております。また、不明な点や、法改正時にも行います。
	33 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	○			実施しております。
	34 定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			実施しております。
	35 父母の会の活動を支援したり、保護者会などを開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	○			昨年以上に開催しました。来期はハイパ会開催予定です。
	36 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか			○	指定相談支援事業所や委託相談支援事業所の苦情を3件いただいた。様々な関係機関に相談するも具体的な解決に至らない。適切な対応をしたと考えるが、解決しなければこの評価になる。
	37 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			ライン等の活用やHP上への告知、不定期ではあるが、会報の配布は行っています。
	38 個人情報の取扱いに十分注意しているか	○			実施しております。
	39 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			実施しております。
	40 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか			○	招待をするような行事は行っていません。
非常時などの対応	41 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	○			実施しております。
	42 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			1月1日の能登半島地震もあり、再度見直しも行いました。
	43 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	○			確認しております。
	44 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○			食物の提供は一切していません。
	45 ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			実施しております。
	46 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			実施しております。
	47 どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	○			身体拘束に関しては、いかなる理由があっても行っていません。